

豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：令和2年7月3日（金）午前9時30分から

場 所：豊明市役所新館1階 会議室4

出席者：佐野委員、近藤委員、三浦委員、成田委員、相場委員、鈴木委員、岡村委員、永井委員

事務局：小串教育部長、深草生涯学習課長、岸田主査、山田社会教育指導員

傍聴人：なし

1 部長挨拶

2 議題

(1) 令和元年度 文化財保護事業報告について

- ・3月の委員会についてはは新型コロナ感染拡大防止のため中止となった。令和2年度 文化財保護委員会事業計画(案)について
- ・バスを使用する文化財保護委員会視察研修についても新型コロナ感染拡大防止のため中止とする。

(2) ナガバノイシモチソウ・大狭間湿地の一般公開について

(事務局)

- ・ナガバノイシモチソウ公開時には委員2名が出席し解説を行う。
- ・ナガバノイシモチソウ自生保護地では感染対策のため、木道の数を減らして一度に入れる人数を10名程度（再入場可能）にする。また見学時間を10分間にして人の流れを良くするとともに、マスクの着用、消毒、検温等感染防止につとめる。大狭間湿地についても準用する。
- ・バスの運行については5～10分間隔で各停留所（3箇所）を巡回し、車内のソーシャルディスタンスを保つ。

(委員)

- ・サギソウは貴重な植物なので公開時には見学できるようにしたい。また常にきれいな環境を保つことができるようマニュアル作りが必要である。

3 報告事項

○市指定文化財報告

(事務局)

- ・4月1日に市指定となった文化財4件（勅使池遺跡旧石器資料群、上高根行者堂遺跡出土軒丸瓦・平瓦・丸瓦、沓掛城址出土「天文十七」墨書木札等附出土陶磁器一括、両村塾址）について保存活用計画に基づき、6月号広報、市HPへの掲載、国の文化遺産データ（HP）への登録を行った。今後、新設看板（2か所）を設置し、パンフレットの記載事項を追加する。またワークショップや令和4年度に開設する新歴史民俗資料室の展示にも活用していく。

(委員)

- ・看板については安城市作成の「歴史のみち」が親しみやすいものとなっており参考になるとよい。

4 その他

○令和2年度歴民企画展

(委員)

- ・両村塾が市指定文化財となったことにより「伊藤両村」をテーマに12月と1月の土・日に唐竹小学校内（歴史民俗資料室）で開催する。なお、伊藤両村に関する展示は今回で終わるのでなく別の年度に渡って続きを開催していく考えである。

○豊明のナガバノイシモチソウの保存活用計画等追加資料について

(事務局)

- ・昭和15年に牧野富太郎博士が豊明村に訪れた際の記録資料を追加した。

○令和2年度広報特別号掲載記事について

近藤委員が執筆を行う。内容については若王子池の堤防が決壊した時の様子を記す。

○新歴史民俗資料室の構想について

(委員)

- ・現在の歴史民俗資料室は教室をいつでも復元出来るような作りとなっているため、無駄な空間が出来てしまう。もったいないので、四隅が有効に使える作りにしたい。

(事務局)

- ・今回は教室に戻す必要がなく、展示替えがしやすい。

(委員)

- ・土器は3階の収蔵室に収蔵する予定か。なお1階には展示スペースと収蔵スペースが入るとよい。

(事務局)

- ・土器については市史掲載等の厳選されたものを室内に置き、その他の土器については外の収蔵庫に入れる計画である。

(委員)

- ・現展示スペース「農家のくらし」は一部屋も要らない。桶狭間の戦いをアピールすべきである。
- ・名古屋市桶狭間公園に観光に来た人が豊明にも足を運んでもらえるようにする必要がある。展示計画が練られる前に保護委員に報告願いたい。

(事務局)

- ・計画案が出来次第、各委員にお知らせする。

(委員)

- ・文化財資料を管理する必要がある。資料を保護・管理できる人を置いてもらいたい。

○二村山の景観について

- ・展望台周辺の樹木が茂ってきている。往時の景観を残す鎌倉街道が見渡せるように伐採をお願いしたい。